

地域再生計画（地方創生道整備推進交付金）事後評価調書

都道府県名	富山県	事業実施主体	富山県・南砺市	地域再生計画名	南砺市森と文化が育む地域づくり計画
計画期間	令和２年度～令和６年度	評価責任者	富山県農林水産部長、富山県土木部長、南砺市ブランド戦略部長、南砺市ふるさと整備部長		

①地域再生計画に記載した 数値目標の実現状況	地域再生計画の目標		基準値		中間目標値			最終目標値			事後評価	達成状況		最終目標値の実現状況に関する評価	
				基準年度		年度	中間実績		基準年度	最終実績					
	目標 1	ペレット製造量の増加	0 t	H29	1,576 t	R4	890 t	1,600 t	R6	782 t		×	指標 総数		達成 数
	目標 2	T O G A 森の暮らし塾受講者数	0人	H29	延べ 12人	R4	延べ 26人	延べ 20人	R6	延べ 37人		○	3		1
	目標 3	年間観光客入込数の増加	369万人	H29	375万人	R4	282万人	377万人	R6	303万人	×			最終目標では約49%の達成率ではあるが、今後、既存公共施設のボイラー等の改善策を図り、ペレット燃料使用量の増量を見込んでいる。今後、民間企業や市民に循環型社会への理解を求めボイラー、ストーブの導入を推進し、ペレット製造量の増加につなげたい。	
②事業の実施状況に関する客 観的な指標（KPI）の実現状 況	重要業績評価指標（KPI）		基準値		中間目標値			最終目標値			事後評価	達成状況			
	指標 1										-				
	指標 2										-				
③事業の進捗状況	事業名		整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価									
			計画	中間年度 (R4)	最終実績										
地域再生計画に記載がある 特別の措置を適用して 行う事業	市道事業	2.3km	0.5km	0.8km	県代行による事業は完了したが、当初の計画に対し、路線の延長から見進捗率は約40%と遅れがみられる。路線の整備にあたり、新たに設置する構造物が多くあり、その設計業務委託および構造物の設置に費用がかさんだ。そのため、本事業の予算内で進められた完成整備量は、計画より短くなってしまった。人件費や資機材が高騰する中で、路線全体での計画期間の延長や計画変更も視野に入れ、全線完成に向けて引き続き、整備を進めていく。										
	林道事業	2.5km	2.1km	2.4km	R6最終実績で2.4kmとなり、計画延長からは進捗は96%と若干遅れているが、概ね順調に整備が進んでいる。道路機能を十分に発揮させるために、全線完成に向け、引き続き事業実施を行いたい。										
その他の事業															
計画外で独自に実施した 事業	南砺市交流観光まちづくりプラン	「交流」を軸とした観光まちづくりを推進する。			令和4年度までは南砺市交流観光まちづくりプランに基づき、観光客入込数の増加や観光の質を高めることを重視した取り組みを行ってきた。令和5年度からは、第2次南砺市交流観光まちづくりプランに引継ぎ、観光振興の結果が地域に豊かさをもたらし、観光経営を通じた地域づくりにつながるよう、7つのリーディングプロジェクトに取り組んでいる。										
	南砺市エコビレッジ構想	様々な小さな循環が相互に連動し、支え合いながら自立するコミュニティの形成を目指す。			本構想は、地域資源の循環による地域の自立を新たな視点とする総合的な地域づくりのあり方を示すもので、市内各地域へと地域特性に応じたエコビレッジの展開を図るため、各種施策に取り組んでいる。今後も持続可能な地域づくりを目指し、木質バイオマスエネルギーの活用や循環型農業の推進など各種施策に継続して取り組む。										
	南砺市森づくりプラン	森林資源の有効活用を図る。			森林が持つ多面的機能が十分発揮されるよう、間伐や過密人工林の整備、路網整備等の森林整備事業の支援を行った。また、市産材使用住宅への建設助成や、ペレットストーブ導入助成を行った。										
	南砺市交流観光まちづくりプラン 後期パワーオン事業	地域資源の磨き上げ、インバウンド対応や広域連携、二次交通の整備等を通じておもてなし力を強化する。			北陸・飛騨・信州3つ星街道協議会や富山県西部地区観光協議会と連携したプロモーションや商品造成を行っている。また、レンタサイクル事業を実施し、市内各所にレンタルステーションを設置、市内を周遊できる環境を整備した。そのほか、五箇山合掌の里のリノベーション(断熱改修・水回りの更新)を実施し、1年中快適に過ごせる環境を整備した。										
	地方創生推進交付金（エコビレッジプロジェクト）	「T O G A 森の暮らし塾」開設による林業者の育成。			令和2年度から事業を開始し、これまで5期37人が通年過程を卒業し、林業事業所への就職や市内定住につながっている。（※R6まで6名の林業従事、10名の転入）										
④評価方法	富山県と南砺市及び第三者からなる評価会議により達成状況の評価、改善事項の検討等を行った。														
⑤事後評価の公表方法	富山県のホームページに掲載														
⑥計画全体の総合評価	本地域再生計画では、道整備交付金を活用した市道整備と林道整備を一体的に行うことで、道路網ネットワークを活用した森林資源の流通を効率化し、森林資源の活用循環を図るとともに、さらに、市内観光地・観光施設等の周遊性を強化し、観光客の入込増加を図ることを目的としている。しかし、道路機能上、全線開通でその機能を十分に発揮できるようになることから、効果の大きい発揮には事業継続が必要である。 なお、ペレット製造量の増加については、既存公共施設のボイラー等の改善策でのペレット燃料使用量の増量見込があることや、民間企業等へ循環型社会への理解を求めボイラー導入を推進するなど、普及を図り、需要拡大していくことでペレット製造量の増加につなげ、引き続き地域再生計画の事業展開を図っていく。 また、年間観光客入込数の増加については、コロナ禍により大幅に観光客が減少してはいるものの、徐々に増加傾向であり、今後の回復に期待している。														
⑦今後の方針等	計画の道路整備を行うことで、地域間のネットワークが強化され、目標は概ね達成される見込みであるが、事業進捗状況が遅れている。 このため、事後評価の結果を踏まえ、見直しによる整備進捗改善によって、全線完成に向け引き続き事業を推進していきたい。														